



飯館村 株式会社いちい

「地域見守りの取組みに関する協定」 締結式

飯館村民の買い物便利に

いちい「とくしま」運行開始

協定締結式は村役場で行われ、伊藤信弘社長と高橋祐一副村長が協定書を交わした。伊藤社長は「今後も地域の連携を強化していきたい」と語った。

いちい（本社・福島市）は12日、飯館村で移動スーパー「とくしま」の運行を始めた。丸の運行を始めた。各家庭を回り、生鮮食品や日用品などを販売し、住民の買い物支援につなげる。

とくしま運行に合わせ協定を結んだ伊藤社長（左）と高橋副村長

とくしまは肉や野菜、総菜、お菓子など約400品目、計約1200点を積み込み、週2回村内を巡回。村内には食料品などを購入できる店舗が少ないため、高齢者をはじめとする住民の利便性向上が期待されている。

運行開始に合わせ、同社は村と地域見守りの取り組みに関する協定を結んだ。伊藤社長は「今後も地域との連携を強化していく」と語った。

定を結んだ。とくしまの訪問先で、住民の異変に気付いた際には関係機関に連絡する体制を整えた。